

計画事業番号	00106	事務事業名	障がい者医療的ケア支援事業	担当部署	保健福祉部福祉課	電話	2143
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市障がい者医療的ケア支援事業実施要綱			
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等	北広島市障がい支援計画(平成27年度～平成29年度)			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち	
	(第 4 節) 障がい福祉の充実	
	(施策 1) 地域生活支援の充実	
2 対象	医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障がい児・者	
3 目的と内容	日常的にたん吸引や胃ろう管理などの医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障がい児・者について、地域活動支援センターや日中活動を行う場所へ看護師を派遣し、医療的ケアを行い、重症心身障がい児・者の社会参加を保障するとともに、家族の負担軽減を図る。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし	
4 実施内容(手段)	28年度まで	医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者について、共生型施設や日中一次支援事業所などに看護師を派遣し、痰吸引や胃ろう管理などの医療的ケアを実施する。
	29年度	昨年度と同様に、医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者について、共生型施設や日中一次支援事業所などに看護師を派遣し、痰吸引や胃ろう管理などの医療的ケアを実施する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
吸引、水分補給、胃ろう管理、気管カニューレ管理、てんかん発作の対応等の医療的ケアの実施	実績なし	吸引、水分補給、胃ろう管理、気管カニューレ管理、てんかん発作の対応等の医療的ケアの実施	吸引、水分補給、胃ろう管理、気管カニューレ管理、てんかん発作の対応等の医療的ケアの実施	吸引、水分補給、胃ろう管理、気管カニューレ管理、てんかん発作の対応等の医療的ケアの実施

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	当該事業は重症心身障がい児・者に日中活動の確保、社会参加の促進には必要不可欠であり、保護者の負担軽減に大きく効果を発揮することから現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			0		312		373		373	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		156		186		186	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	0		156		187		187	
	① 合計	0		312		373		373		
	人件費 (左側:一般、右側:再任用)	② 人数(年間)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	84	0	84	0	84	0	84	0	
総事業費①+④			84		396		457		457	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①利用者	目標値	人	3	3	3	3
		実績値		0			
	②サービス提供回数	目標値	回	6	24	24	24
		実績値		0			
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	①	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値					
	②	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値						
③	目標値						
【指標の定義(算式等)】	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	医療的ケアを必要とする重症心身障がい児・者の日中活動の場の確保や社会参加を促進するために重要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	対象となる重症心身障害児・者の方々へは相談支援事業を通して制度の周知は行っている。現状としては、保護者の方が障害を持った方の支援をしており、今後、保護者の高齢化等による理由から負担軽減が必要となった際には、大きな効果が期待でき、利用が見込まれる。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	重症心身障がい児・者への社会参加を促し、制度周知を図るとともに、派遣する看護師の人員の確保により成果の向上が見込まれる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	医療的行為であるため、単価を下げるなどのコスト削減は困難である。また、所得に応じた自己負担を徴収している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
-------------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。
	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。